

パンチラ未然防止シミュレーターについて

ItokenProgramming

2022 年 9 月 26 日

1 目的

本シミュレーターは階段状構造物において、上方の人物（以下「被観察者」という。）が身につける下着うち、腰より下を覆う筒状の衣服で覆われている部分を、下方の人物（以下「観察者」という。）が視認すること（以下「パンチラ」という。）が可能であるかをシミュレートし、パンチラを未然に防止することを目的とする。

2 原理

図 1 に示す様にスカート下端と脚の水平距離を X_s 、地面とスカート下端の鉛直距離を Y_s 、地面とパンツ下端の鉛直距離を l とし、角度 θ を図 1 の様にとる。また、図 2 の様に階段の蹴上の長さを h 、階段の踏面の長さを w 、観察者の目線の高さを H 、階段の段数を n 段、観察者の視線の仰角を ϕ とする。ただし観察者、被観察者はともに踏面の中央で直立するものとする。この時、 θ は

$$\theta = \arctan \frac{l - Y_s}{X_s} \quad (1)$$

の様に表せる。さらに、観察者の視線の仰角 ϕ は

$$\phi = \arctan \frac{nh + l - H}{nw} \quad (2)$$

となる。 $\phi > \theta$ の時、つまり

$$\arctan \frac{nh + l - H}{nw} > \arctan \frac{l - Y_s}{X_s} \quad (3)$$

が成り立つ時、パンチラが可能となる。

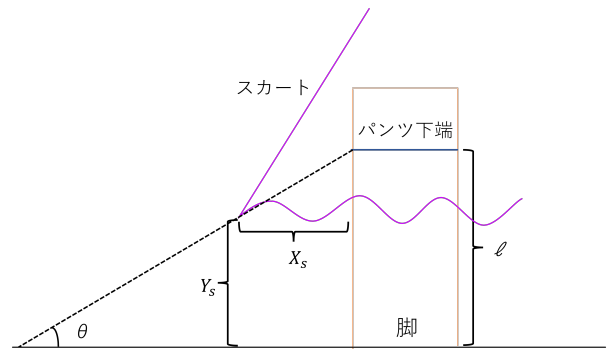


図 1 パンツ近傍の略図

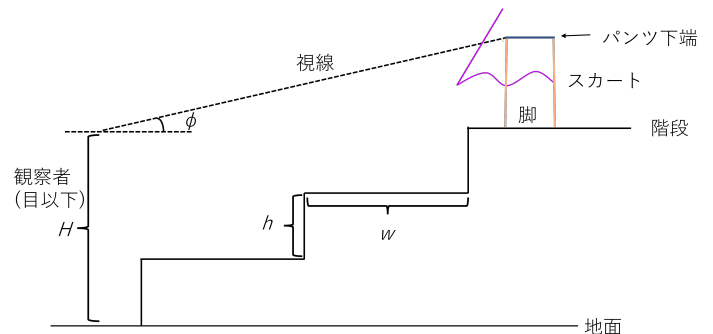


図 2 パンチラ不可能時における全体の略図

3 終わりに

本シミュレーターによって得た知見に基づき、公共の場所にいる人又は公共の乗物に乗っている人に対しパンチラを行った場合、刑法、軽犯罪法、各都道府県の定める迷惑行為防止条例等の法令により、処罰の対象となる可能性があることに十分注意されたい。

本シミュレーターをパンチラ未然防止に活用頂ければ筆者としては望外の喜びである。